

令和 7 年度南三陸町議会 1 2 月会議 一般質問通告書

通告 1 番 三浦 清人 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 1 次産業の振興について

質問の相手 町長

質問の要旨 漁業振興対策は

2 件目

質問件名 交流人口施策について

質問の相手 町長

質問の要旨 魚竜館建設について

3 件目

質問件名 子育て支援について

質問の相手 町長

質問の要旨 町内の保育施設の利用にかかる無償化について

通告 2 番 今野 雄紀 議員

質問方式 一問一答

質問件名 クマ被害への安心安全のための対応や取り組みについて

質問の相手 町長・教育長

質問の要旨 クマ被害に対する町の対応と取り組みについて伺う。

1 人身・農産物への被害の状況と対策について（質問相手：町長）

- ・ これまでのクマの出没状況、人や農作物への被害状況の把握と、それに対して町の認識について
- ・ 被害に遭われた時の補償や支援策について

2 町民の安全確保と周知啓発について（質問相手：町長・教育長）

- ・ クマの出没状況や遭遇時の対処法などを環境省では出しているが、住民へどのように周知・啓発しているのか
- ・ 学校や通学路、病院や公共施設など、特に危険が懸念される場所での安全確保策について
- ・ クマを寄せつけないための対策の徹底した取り組みについて

3 捕獲・駆除体制の現状について（質問相手：町長）

- ・ クマが町内に出没した場合の捕獲、追い払い体制や警察、猟友会などとの連携について
- ・ 有害鳥獣駆除にあたる猟友会への報奨金、保険加入の促進や担い手の確保・育成策について
- ・ ガバメントハンターの必要性について

4 中長期的な対応と環境整備について（質問相手：町長）

- ・ クマの生息域と人間の生活圏との境界における電気柵設置支援の整備、熟した柿などの放置果樹の処理について
 - ・ 里山の環境整備の必要性について
 - ・ 近隣自治体や広域での連携の可能性について
- 5 財源の確保について（質問相手：町長）
- ・ 国ではクマ対策をパッケージで施策展開し、パッケージ以外の対策でも特別交付税で補填するということだが、町として独自の対策の検討について

通告 3 番 阿部 司 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 農業生産振興の取組みについて

質問の相手 町長

質問の要旨 今期の改選に伴い新町長として一次産業の生産振興を謳われていることにつきましては喜ばしきことと捉えております。

ついては、当町の農政上の現況課題と今後の取組みにつき以下の点を伺う。

- 1 稲作農家の現況課題と今後の振興上の重点政策について
- 2 園芸農家の現況課題と今後の振興上の重点政策について
- 3 畜産農家の現況課題と今後の振興上の重点政策について

2 件目

質問件名 鳥獣害脅威への対応について

質問の相手 町長

質問の要旨 東北、北海道で熊による人身被害が多発し住民不安が拡大している。

ついては町の現況と今後の対応策の考えを伺う。

- 1 近年 5 年間の鳥獣害出没件数と被害状況について
- 2 鳥獣害出没への対応状況と現況課題について
- 3 鳥獣害出没に伴う「緊急銃猟」制度の考えと課題について

3 件目

質問件名 文化財の現況と活用について

質問の相手 町長・教育長

質問の要旨 文化財保護と活用は社会的文化的な資質の向上を図る上で重要な事と認識している。

ついては、当町における以下の点につき考えを伺う。

- 1 令和元年からの指定推移状況について（質問相手：教育長）
- 2 未指定文化財の今後の方向性について（質問相手：教育長）
- 3 観光分野における文化財活用について（質問相手：町長）

通告 4 番 須藤 清孝 議員
質問方式 一問一答
質問の相手 町長
質問件名 D X の現状と課題について
質問の相手 町長
質問の要旨 令和 2 年 1 2 月、政府より、自治体デジタル・トランスフォーメーション（D X）の推進が示されているが、当町における D X の進捗状況及び課題について伺う。

- 1 各自治体がデジタル技術を活用し、住民サービスの向上や行政業務の効率化等を進めており、近年では生成 A I を活用した D X の次なるステージへと進めている自治体も確認できる。当町における D X の進捗状況は。
- 2 1 2 月より更新された町公式ホームページに期待される住民サービスの向上とは。
- 3 県内 3 5 市町村のうち、当町を含めた 3 町のみが L I N E 公式アカウントを取得していない。主に情報発信や行政サービスに活用されている現状に対し、当町の見解は。

通告 5 番 千葉 伸孝 議員
質問方式 一問一答
質問件名 町に刻銘慰霊碑建立を
質問の相手 町長
質問の要旨 近隣の被災自治体には、刻銘慰霊碑が建立整備されている。町には、歌津地区、戸倉西戸地区にあり、今年 3 月には防災対策庁舎で犠牲となった職員を含め 3 9 名の慰霊碑が建立され、消防署にも隊員 1 0 名の刻銘慰霊碑がある。この刻銘された方々以外の犠牲となられた町民にも刻銘慰霊碑を建立すべきと思うが、町長の考えを伺う。

- 1 今のモニュメントの中に犠牲者名簿を安置する方法について、町長の所感を伺う。
- 2 被災地への復興交付金は福島県が大部分を占める状況となり、これまで慰霊碑を建立しなかった被災自治体が整備することとなった場合に国から交付されるのか。また、交付対象外となった場合には町の財源持ち出しとなるのか。
- 3 役場職員の刻銘慰霊碑は、現職や O B 家族の 3 0 0 人から 3 5 0 万円の寄付により建立されたが、犠牲となられた町民 6 1 4 名の町内に生きた証として刻銘慰霊碑の建立は必要と考えるが、町長の考えを伺う。

通告 6 番 後藤 伸太郎 議員
質問方式 一問一答
質問件名 ネイチャーポジティブ宣言について

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 合併20周年記念式典において、町はネイチャーポジティブ宣言をおこなった。豊かな自然環境を次世代に残すため、また、交流人口拡大による地域経済の発展のためにも、環境教育の充実には大きな意義がある。環境に関する今後の取り組みについて伺う。

- 1 ネイチャーポジティブ宣言後の具体的な行動目標は。(質問相手：町長)
- 2 それによってどのような成果が得られると考えるか。(質問相手：町長)
- 3 教育分野ではどのような取り組みをおこなっていくのか。(質問相手：教育長)
- 4 自然共生サイトの今後の拡大促進策は。(質問相手：町長)
- 5 志津川湾の藻場再生に向けた取り組みは。(質問相手：町長)
- 6 環境DNA調査への児童・生徒の参加を促しては。(質問相手：教育長)
- 7 再生可能エネルギーの利用促進と自然環境の保全との調和をどのように取っていくのか。(質問相手：町長)

通告7番 星 岳大 議員

質問方式 一問一答

質問件名 学校を取り巻く環境への対応について

質問の相手 教育長

質問の要旨 近年の地球温暖化による気候変動により、気温上昇や災害、生態系の変化や、健康被害が発生すると言われており、脆弱な立場にある子どもたちへのリスクが高まるものと思い、次の点を伺う。

- 1 近年の高温化による夏期の学校活動への対応について伺う。
- 2 高温化により夏期の活動に制約がある。学校体育館にエアコンを設置してはどうか。
- 3 学校周辺、学校敷地内での野生動物の目撃状況及びその対応について伺う。

通告8番 伊藤 俊 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 環境変化に向き合う漁業を守るための方策とは

質問の相手 町長

質問の要旨 低気圧、台風などの大型化による被害拡大や、自然環境要因による漁業環境の変化は年々厳しさを増している。漁業に携わる皆さまの知恵、経験により、生業を守るための奮闘は日々続いているが、町全体で地域課題を共有し、地域資源を守っていく体制を作るべき時が来ている。海は海、山は山という捉え方を考え直し、新たな方向性を打ち出していくことが必要と思うが、町の方策について伺う。

- 1 漁港管理において管理強化を図る考えは。
- 2 養殖業において環境変化に対応していく水産資源開発への取り組みは。
- 3 漁業についてのPR、水産物のプロモーションをどう考えるか。
- 4 担い手確保、維持、展開についての考えは。
- 5 森・里・海の一体感を高めていく取り組みは。

2 件目

質問件名 みんなで作ろう「福祉のまち」実現のために

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 地域福祉の課題は多様化、複雑化しているだけでなく人口減少によって今後さらに深刻化していくことも心配される。持続的な課題に向き合っていくためには、5年、10年後を見据えた福祉人材の確保、育成策をプラットフォーム化し、誰もが地域福祉を自分事化して支え合い、助け合いを実践していくような環境を目指していくべく、町の考えを伺う。

- 1 重層的支援体制整備事業のあり方と取り組みについて。(質問相手:町長)
- 2 地域コミュニティづくりに携わる担い手の維持、育成策は。(質問相手:町長)
- 3 地域福祉について共通理解を高め、世代を超えて参加していくために学校現場から出来る取り組みは。(質問相手:教育長)

通告9番 及川 幸子 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 社会福祉施策について

質問の相手 町長・教育長

- 1 以前ヤングケアラーの生徒が町内に居るのかと尋ねたら「いない」との答弁だった。当町の現在の実態を伺う。(質問相手:教育長・町長)
- 2 障害児者や老々介護・一人暮らしの実態についても伺う。(質問相手:町長)
- 3 児童生徒や大人の引きこもりについては、学校・保健福祉課、関係機関で相談されている中で、ケースの相談状況について伺う。(質問相手:教育長・町長)

2 件目

質問件名 町内の道路整備について

質問の相手 町長

- 1 震災から14年が過ぎようとしている。しかし、未だに生活道路が当時のまま緊急車両も入れない状況下で生活している町民もいる。この様な状況を町は把握しているのか。また、その課題解消の考えはあるのか伺う。
- 2 未舗装の町道について今後の整備方針を伺う。

3 件目

質問件名 詐欺被害の相談窓口について

質問の相手 町長

質問の要旨 町の広報誌や放送で、「詐欺に遭わない様に」と放送を流しているが、それでもうまい話につい乗ってしまい、大金を渡してしまい、儲かるとなるとまた手を出してしまう現実がある。

警察に相談に行くことが心配で一人で悩んでいる人がいる状況の中、次の点について伺う。

- 1 そうした場合、何処に相談すべきなのか、役場の中で共有することが大事ではないか。
- 2 詐欺に遭っていても、自分は大丈夫と思い込んでいる人もいる。周知や関係機関との連携は十分か。
- 3 だます人は一番悪く、「詐欺だ」と思わない町民が悪い事も十分わかるが、一緒に相談に行ける体制造りが必要と考える。町長の考えを伺う。